

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年8月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100815
法人名	医療法人 常清会
事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム風と光
所在地	鹿児島市紫原4丁目4番2号 (電話) 210-5241
自己評価作成日	平成29年7月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年8月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本事業所は、紫原の中心部にあり交通の便が良い複合施設内にあります。施設内には、高齢者専用賃貸住宅、保育所、生活介護事業所、発達支援センター、就労支援事業所、福祉用具販売事業所、めがね屋があります。近隣の発達支援保育所・施設内保育所の園児達と定期的に交流会を実施しております。月に1回園外活動を実施し、可能な限り外出支援を行いご利用者様に季節を実際に肌で感じて頂いております。毎週金曜日には、外部講師による詩吟があり、詩吟や和歌を楽しまれています。法人母体病院から月2回理学療法士の訪問リハビリを受けており、利用者様1人1人に合った筋力維持リハビリ運動の指導をGH職員は受けて、それを毎日提供しADLの維持が図れる様にリハビリ援助を行っています。

○ 鹿児島市の住宅街に建てられている事業所で、同じ建物内には関連施設もいくつかあり、近隣には多くのスーパーをはじめ商店や企業、小中学校等が密集している地域に位置している。2つの協力医療機関との連携も十分に図られ、定期的に訪問診療を受けることができ、利用者や家族の安心につながっている。

○ 利用者が地域の中でその人らしく暮らせるように、毎朝の申し送り時に全員で理念を唱和し理解を深めている。職員個々が年度目標を設定して年度末には達成度を評価するとともに、計画的に実施している研修や勉強会の充実も図り、より良いケアを目指して支援に取り組んでいる。

○ ホームで開催する夏祭りには、家族や地域の方々に参加して頂くと共に、町内会に加入して桜祭りや校区の文化祭会等へ出かけている。また、ホームの敬老会やクリスマス会では、ボランティアの来訪及び保育園児との交流も行われている。管理者や職員は、地域との関わりをより深くしたいと考え、回覧板での情報発信や民生委員・町内会長との意見や情報交換なども検討している。

○ 年2回は消防署の協力を得ながら火災や地震を想定した消火訓練・避難訓練を実施すると共に、3ヶ月に1回は防犯対策も含めた自主訓練も行い、職員の強い防災意識で利用者の安全確保に取り組んでいる。また、スプリンクラー・自動通報装置等の設置や食料・水の備蓄も十分配慮され、地域の人々の協力が得られるように必要な情報提供や呼びかけも行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時に理念の復唱を行い、職員全員が施設理念を念頭に置き利用者様の生活の場としてその方の基本的人権を尊重し、安全にその方らしく生活をして頂ける様に支援に努めている。	ホームの理念と年度目標は、掲示するとともに名札の裏にも記載され、申し送り時には唱和して意義の理解を深めている。理念に基づき、家庭的な雰囲気の中で安全にその方らしく暮らせるように支援に取り組んでいる。また、目標の達成状況は年度末に職員個々で自己評価して振り返り、日々のサービスへの反映に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアの方に来て頂き、外部の方との交流が図れる様にし夏祭りや避難訓練等には、地域の方にもお知らせをし、参加して頂ける様に外部との交流が途切れる事がなく行っています。	ホームと建物内の保育園児との敬老会や、クリスマス会等での交流をはじめ、中学生の職場体験学習及びボランティアの方々とふれあいを利用者は楽しんでいる。ホームの夏祭りには家族や地域の方の参加もあり、町内会に加入して、桜祭りや校区の文化祭等に参加するなど、地域との関係づくりに取り組んでいる。ホームの他の行事にも地域の方々に参加頂けるよう呼びかけ	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議にて、民生委員、ご家族様、長寿あんしん相談センター職員の方達と毎回勉強会を実施しています。又、外部の方を招いて職員が講師になり、認知症サポーター講習を実施しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ヒヤリハットの報告等実施。その中で問題点等があれば民生委員の方や長寿あんしん相談センター職員の方達に相談等行い助言を頂きその内容を職員と話し合い、協議してケアの質の向上やヒヤリハット再発防止に努めている。	会議は民生委員や地域包括支援センターの職員にも参加頂き定期的に開催している。ホームや利用者の現況や行事、ヒヤリハットの報告をはじめ、様々な課題等についての意見交換が行われ、委員からの助言や提案を日々のサービスに活かしている。毎回、認知症や感染症等のテーマを設けて、時には地域住民にも呼びかけて勉強会も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	不明な点等があった際は、市役所に問い合わせを行い助言を頂き協力関係を築ける様に取り組んでいる。	地域包括支援センターの職員には、運営推進会議に出席して頂き、意見や情報の交換を行っている。また、行政担当者とは、訪問のほか電話やメール等で、利用者の暮らしぶりやニーズを具体的にお伝えするとともに、認定更新の手続きのほか、多くの相談等に対して助言や対応をして頂いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠は、夜間帯のみ実施。日常的に身体拘束は行わない様に周辺症状が強い方達には声掛け・寄り添いのケアを徹底して行い周辺症状の緩和に努めている。全職員が身体拘束を行う事の弊害等を理解し身体拘束ゼロを念頭に置きケアを実施。定期的に身体拘束の勉強会を実施。	職員は利用者個々の状況把握に努め、連携して利用者の行動を注意深く見守り、まめに声かけして寄り添いながら玄関や居室に鍵をかけない自由な暮らしを実現している。また、言葉による行動制限をはじめとする身体拘束や高齢者虐待、権利擁護等に関する勉強会をホーム内で計画的に実施して、職員は方法を共有してケアへの反映に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待や精神的虐待・スピーチロック等の虐待に繋がるケアを行わない様に勉強会を実施。職員の意識統一に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度に関しては勉強会を実施。職員は今後も継続して勉強会を実施していく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用規約を結ぶ時点で十分な説明を行い、分からない所や不安な所を尋ねやすい雰囲気作りを行い、ご家族が契約内容の理解・納得が得られる様に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様やご家族からの意見や要望は、毎日の朝礼時やミーティング時に報告、ケース記録や連絡帳にその内容の記載を必ず行い全職員が周知徹底が行える様にしている。要望等に関しては随時対応を行い要望に沿える様に努めている。	利用者には、頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは、来所時や家族会の際に、話しやすい雰囲気作りを努めて多くの意見を頂いている。内容は、ケース記録や連絡帳で共有し、申し送りや毎月のミーティング・ケア会議等で対応を話し合い、ケアに具体的に反映できるように取り組んでいる。本人や家族に必要な報告するなど速やかな解決を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体ミーティングやユニットミーティングにおいて意見や提案を聞き、職員全員で議論し運営に反映させている。又、ミーティング等では、話せない事等は、個人面談を実施して意見等を聞くようにしている。	管理者は、日々の申し送り時や毎月のミーティングやケア会議時、また、連絡帳の活用で職員の意見や提案を把握すると共に、頻繁に声掛けを行い、必要に応じて個別面談の場も設けるように努めている。これらの意見や提案を、資格取得の支援や子育て支援、職場環境等の改善や利用者へのサービス向上に具体的に反映するように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得支援として勤務の融通を図っている。また子育て支援の一環で看護休暇や職員の時短勤務、勤務シフトの融通を導入し、子育てをしながらでも働ける環境づくりを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修を毎月実施。担当職員が主体となり勉強会を実施する事により職員1人1人の自主的行動を促していく。又、外部研修にも全職員が参加出来るようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業者との交流はない状態。今後、関係作りに同業者同士でのネットワークの構築を行いお互いに情報交換等を行っていきケアの質の向上に繋げる必要がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所初期の段階では、その方に寄り添い・話の傾聴を行い他利用者様・職員との信頼関係を構築し安心・安全だと思える様に援助を行っていく。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の面談の時点で本人・ご家族からのGHで生活する上での要望や考えられる問題点等の話し合いを実施しご利用者様・ご家族様との関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前に本人・ご家族との面談を実施その方に必要な福祉用具やサービス利用の見極めを行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その方1人1人を人生の先輩とし人権を尊重し生活の知恵や昔の出来事・料理方法教えて頂いたり、GH内の家事援助を一緒に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や病院受診、外出外泊、園外活動への参加等出来るだけ協力を頂ける様に利用者様を中心として支えあっている関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力の下、馴染みの美容室・病院や自宅への外出・外泊等を行ったりご友人の面会、季節毎の葉書きのやり取りや電話での連絡の取次等を実施。馴染みの関係が途切れることがない様に援助を行っている。	利用開始時やご家族との対話などで、本人の思いや生活史などをセンター方式シートに記入して、支援に活用できるように取り組んでいる。ご家族や利用者の知人・友人の来訪時にはゆったりと過ごせるように、また、電話や手紙の取次ぎ、趣味の支援も行っている。ご家族の協力を得ながら馴染みの美容院、一時的な帰宅も適切に支援し	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握しスムーズなコミュニケーションが図れる様に、職員は仲介に入り余暇活動の提供を実施。孤立せずに関わり合い支え合える様に、利用者様同士で声を掛けあえる様な関係作りの支援を実施している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設に入所されたりした際は、GH退所後も面会等を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各個人センター方式シートを記入。その情報をもとにその方の意思や希望を尊重したケアの提供を行っている	利用開始時の利用者本人や家族からの聞き取り情報や、日々の関わりを通じた言葉や表情などから、利用者の思いや意向を可能な限り把握するように努めている。「連絡帳」や「業務日誌」・「ケース記録」で職員は情報を共有し、十分に意見交換して必要な対応を検討し、利用者本位の支援に結びつくように取り組んでいる	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の時点で、ご家族・本人様より情報収集を実施。又、入所後も随時情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の声掛け、バイタルチェック、状態観察を行うことにより職員は随時、利用者様の状態変化の把握を実施。常に利用者様の身体状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成は、ケアチェック表記入後、事前に主治医意見書に記入して頂き、本人・ご家族・居室担当職員・サービス計画作成者で担当者会議を実施。各関係者の意見を総合しご利用者様のニーズに合ったケアプラン作成を実施している。	担当職員・ケアマネージャー等を含め、本人、家族も参加した担当者会議で話し合い、主治医の意見も取り入れながらきめ細かな介護計画を作成している。毎月末にはカンファレンスを行い、ケアチェック表や経過記録を基に計画の見直し修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの結果・ご利用者様の行動や言動他、日々の細かな状況を記録に残し職員間で情報共有。問題点がある際は問題解決を図りそれらを元にモニタリングを行いケアプラン見直し、新たなケアプラン作成の際の情報として反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族同伴の病院受診が困難な際は、職員が同行を実施し出来る限り利用者様が必要なサービスは、提供を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月1回の園外活動や近所の公園に散歩などを行い地域資源と共に暮らしていける事を感じてもらい安心して豊かな暮らしを楽しめるように支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関との連携を図り、ご利用者様のかかりつけ医とも適切な関係を築きながら適切な医療が受けられる様に支援している。	利用前の受診状況の十分な把握により、本人や家族の希望するかかりつけ医の訪問診療並びにご家族による通院を支援している。また、専門医受診も含めて受診状況や必要な対応も「個人ケース記録」等で職員をはじめとする関係者で共有が図られ、医師や家族との意見交換も十分に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご利用者様の変化等気になる事がある際は、訪問看護師に報告を行い指示を仰ぎ病院受診が行えるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者の入院時には、GHでの生活状況、身体状況等をまとめて情報提供を実施。退院時にも病院のSWの方達と連携を密に図り関係構築を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>現在看取りは行っておらず。看取りに関しての勉強会は実施していく必要がある</p>	<p>重度化や終末期の対応については、本人やご家族の意向を大切にしており、方針を共有して、その意向を反映できるように最大限努めている。関連する勉強会も行い、職員の理解促進も図っている。</p> <p>様々な変化の都度、職員やかかりつけ医、またご家族と十分に話し合い、利用者やご家族の意向を最大限大切にしながら入院や他の施設への移動も含めて適切な支援が提供できるようにして</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の訓練や、勉強会は定期的に実施している。今後も、継続して勉強会を行っていく必要がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回施設全体の避難訓練、3か月に1回GH内での自主避難訓練を実施している。地域の方々との協力体制の構築を今後進めていく。</p>	<p>消防署とも連携して、年2回の火災や地震を想定した避難訓練を同一建物の施設全体で行い、防犯対策も含む自主的な避難訓練も3ヶ月に1回実施している。また、スプリンクラー・自動通報装置等の設置や食料・水の備蓄にも十分に配慮され、地域の人々の協力が得られるように必要な情報提供や呼びかけも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩としての尊敬の念を持ち、その方の尊厳を傷つける事のない様に声掛けやケアの提供を実施。	併せて入浴支援をはじめとした日々のケアに際して、利用者に尊敬の念を持ち、丁寧な言葉使いや職員同士の会話にも気配りがなされ、誇りやプライバシーを損ねない対応を心掛けている。また、接遇や個人情報保護等に関する研修も計画に沿って実施され、利用者に関する各種の記録や居室にも十分な配慮がなされている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日のコミュニケーションや利用者様の表情・仕草等からご利用者様の思い・希望等をくみ取る事が出来て、それを自己決定に繋がる様に声掛け・ケアの提供を実施。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活の場としてその方1人1人のペースや生活リズムに合わせたケアの提供を実施。業務中心のケアではなく利用者様を中心とし、きちんと希望に添えているかどうか確認を行いながらケアの提供を実施。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に訪問理美容を利用している。又毎朝の更衣等は、ご利用様の着たい洋服等の確認を行い更衣等実施。整髪・髭剃り・洗顔等の声掛け、援助を行い清潔保持、身だしなみ・おしゃれ等の支援を実施。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつ作りや昼食の下ごしらえ、片付け等を手伝って頂く。又、小鉢メニュー作成時にご利用者様の意見を反映させてその季節にあった食材を使用する事で楽しみ作りに繋げている	本来は1階の長室より提供されているが、旬の食材を活用しながら献立には利用者の好みも反映させている。利用者の能力に応じて、職員と一緒に食卓の準備・後片付けや毎日のおやつ作り等を行っている。また、誕生会の特別食のほか、敬老会やクリスマス会も含む季節の行事食や初詣等へ出かけた際の外食など、利用者の楽しみとなるように工夫している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に必要な栄養摂取量を把握し提供を実施。水分はこまめに声掛け・提供を行い脱水防止に努める。水分摂取が進まない方に関してはその方の嗜好にあった飲み物等を提供する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの介助が必要な方は、一部介助を実施。口腔内の清潔保持に努めている。自立の方に関しても声掛け・見守りを徹底して行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄パターンの把握を行う為に、排泄チェック表を利用し随時トイレ誘導を実施。出来るだけ排泄感覚を維持を図るとともに、トイレにて排泄して頂ける様に排泄自立支援を行っている。	利用者の細かい様子観察や排泄チェック表の活用により、利用者個々の排泄リズムを把握し、可能な限りの援助方法を検討し、昼間のトイレ誘導を基本にした自立のための支援を行っている。利用者個々に合わせた排泄用具等の使い分けなどの工夫も介護プランに組み込み、言葉かけを始めとして羞恥心や不安の軽減に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期的に排便がある様に水分補給を徹底して行い、トイレ使用時の腹部マッサージ適度な運動等を行い自然排便を促しているが、必要に応じて下剤等を服用して頂いているが脱水等を起こさない様に十分注意を払い与薬を実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の意向を確認して入浴を行っているが、その日の状況で行えない事もある。必ず1人ずつの個別支援を行い、同性介助を出来るだけ行える時は、実施している	利用者の健康状態に配慮しながら、場合によってはシャワー浴や清拭に変更することの対応を含め、基本的には週2～3回の檜風呂を安心して楽しめるように支援している。基本的には同性介助で、皮膚等の観察も行いながら、コミュニケーションを十分に図りゆったり入浴して頂いている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間良眠して頂ける様に、日中の活動の充実を図っている。気持ちよく休んで頂ける様に、寝具類の清潔を保ち適温で過ごしやすい環境を提供している。日中も利用者様の状況に応じて休息をその都度促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服に関しては、職員が何時誰が何を服用していて、その薬にはどのような副作用があるか理解して服薬介助を行う。誤薬を防ぐ為に日付・名前を出勤職員全員で確認して服薬介助を実施。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	余暇活動の時間を設け利用者様1人1人の能力に応じた個別レクリエーションの提供を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な外出支援は難しいが、ご家族の協力を頂き出かけられる様に支援している。月1回の園外活動を実施。	利用者の希望は、日常会話を通じ把握に努め、ご家族の協力も得ながら月1回は園外活動として、季節の花見や初詣・公園・外食等に出かけるなど季節に合わせた外出を企画している。日常的には、健康状態や天候を見ながら屋上での日光浴、近隣の公園の散歩、スーパーへの買い物等に出かけている。また、年に数回は同じ建物内の保育園の園児との交流もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>欲しいものがある際は、お小遣いでどの位買えるのかを考えてもらったり、買い物外出時の支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望により手紙・電話や携帯電話を所持している方は、それらでのやり取りが行える様に支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた飾りつけを利用者様とおこなう。ベランダで野菜や植物の栽培を行い、利用者様には季節感を目で見えて感じて頂いている。採光や空調にも気を付けトイレや浴室は清潔を保ち気持ちよく利用して頂ける様に努めている。</p>	<p>リビングは、ゆったりとしたスペースで明るく、周囲の壁には利用者作成の作品や行事の写真等が掲示され、季節を感じる花や観葉植物も置かれている。</p> <p>また、室温や換気、清潔にも十分に配慮がなされている。日当たりの良い屋上やテラスのプランターには花や野菜の栽培も行われ、散歩や日光浴ができるように整備されて気持ちよく過ごせる環境になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様同士が楽しく過ごして頂ける様に座席配配置等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具等を持って来て頂き、写真や創作物を飾ったりして利用者様にとって居心地の良い環境作りに努めている。</p>	<p>個々の居室には、利用者が使い慣れたテレビや家具の他に、馴染みの小物や写真が飾られ、本人が落ち着いてその人らしく暮らせるように配慮されている。</p> <p>床はフローリング仕上げで、ホームが準備したベッドや椅子・テーブル・エアコン・洗面台等が備え付けられている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行が出来る方は、手すりを掴み安全に歩いて頂き、車椅子自走される方は安全に車椅子自走が出来るように、障害物等なく安全な環境で生活して頂ける様に努めており、1人1人の自立に繋がる支援を行っている。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない